

アイセントレス錠 600mg

【この薬は？】

| | |
|--------------|---|
| 販売名 | アイセントレス錠 600mg ISENTRESS Tablets 600mg |
| 一般名 | ラルテグラビルカリウム Raltegravir potassium |
| 含有量 (1錠中) | ラルテグラビルとして 600mg |

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤（HIVインテグラーゼ阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）のインテグラーゼを阻害してウイルスの増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

HIV感染症

- ・この薬は、他の抗HIV薬と併用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化したり、効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にアイセントレス錠に含まれる成分で過敏症のあった人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人では、1回2錠を1日1回食事の有無にかかわらず飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。
気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は、患者さんやそれに代わる適切な人が次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
 - ・この薬は、H I V感染症を治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性がありますので、この薬を飲んでいる間の身体状況の変化は全て医師に報告してください。
 - ・この薬を長く飲んだ場合の影響についてはわかっていません。
 - ・この薬が、性的接触や血液などを通した他者へのH I V感染の危険性を低下させるかどうかについては証明されていません。
 - ・医師の指示を受けずにこの薬の飲む量を変えたり、飲むことを止めたりしないでください。
- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり、悪化したり、自己免疫疾患*（甲状腺機能亢進症、多発性筋炎、ギラン・バレー症候群、ブドウ膜炎など）があらわれたりすることがあります。
*自分自身の正常な細胞や組織に対して過剰な免疫反応が起こるため発症する疾患
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。



| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|--|--|
| 皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん) | からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹 (ほっしん)、中央にむくみをともなった赤い斑点 (はんてん)、陰部の痛み |
| 薬剤性過敏症症候群 やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん | さむけ、ふらつき、汗がたくさん出る、発熱、意識がうすれる、考えがまとまらない、息苦しい、かゆみ、発疹 (ほっしん)、しびれ、判断力の低下 |
| 過敏症 かびんしょう | さむけ、ふらつき、汗をかく、発熱、意識がうすれる、考えがまとまらない、口唇周囲のはれ、息苦しい、かゆみ、じんましん、発疹 (ほっしん)、判断力の低下 |
| 横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう | 脱力感、手足のしびれ、手足のこわばり、筋肉の痛み、赤褐色尿 |
| ミオパチー みおぱちー | 筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下 |
| 腎不全 じんふぜん | むくみ、全身のけいれん、貧血、頭痛、のどが渇く、吐き気、食欲不振、尿量が減る、無尿、血圧上昇 |
| 肝炎 かんえん | からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐 (おうと)、食欲不振、皮膚が黄色くなる |
| 胃炎 いえん | 吐き気、嘔吐 (おうと)、胸やけ、胃部不快感、食欲不振、腹痛 |
| 陰部ヘルペス いんぶヘルペス | 発熱、倦怠感、陰部の小さな水疱 (すいほう) を伴う発疹 (ほっしん)、陰部のかゆみや痛み、局所のリンパ節のはれ |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|-----|---|
| 全身 | からだがだるい、高熱、発熱、さむけ、ふらつき、汗をかく、汗がたくさん出る、むくみ、全身のけいれん、貧血、倦怠感、脱力感、筋肉の痛み |
| 頭部 | 意識がうすれる、考えがまとまらない、頭痛 |
| 眼 | まぶたや眼の充血、結膜のただれ、白目が黄色くなる |
| 口や喉 | ひどい口内炎、唇や口内のただれ、口唇周囲のはれ、のどが渇く、吐き気、嘔吐 (おうと) |
| 胸部 | 息苦しい、吐き気、胸やけ |
| 腹部 | 食欲不振、吐き気、胃部不快感、腹痛 |
| 手・足 | 手足のしびれ、手足のこわばり |

| 部位 | 自覚症状 |
|-----|--|
| 皮膚 | 赤い発疹 (ほっしん)、中央にむくみをともなった赤い斑点 (はんでん)、かゆみ、じんましん、発疹 (ほっしん)、むくみ、皮膚が黄色くなる |
| 筋肉 | 筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下 |
| 尿 | 尿量が減る、無尿、赤褐色尿 |
| その他 | 陰部の小さな水疱 (すいほう) を伴う発疹 (ほっしん)、陰部のかゆみや痛み、局所のリンパ節のはれ、しびれ、判断力の低下、血圧上昇 |

【この薬の形は？】

| 形状 | 長円形の錠剤 | | |
|-------|--|--|---|
| |  |  |  |
| | 表面 | 裏面 | 側面 |
| ボトル |  | | |
| 直径 | 長径：19.1mm、短径：9.7mm | | |
| 厚さ | 6.1mm | | |
| 重さ | 約 1.08g | | |
| 色 | うすい黄色 | | |
| 識別コード | ❖ 242 | | |

【この薬に含まれているのは？】

| | |
|------|---|
| 有効成分 | ラルテグラビルカリウム |
| 添加物 | ヒプロメロース、クロスカルメロースナトリウム、結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウム、乳糖水和物、酸化チタン、トリアセチン、黄色三二酸化鉄、黒酸化鉄、カルナウバロウ |

【その他】

- この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●**薬が残ってしまったら？**

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：MSD株式会社

(<http://www.msd.co.jp>)

MSDカスタマーサポートセンター

フリーダイヤル：0120-024-964

受付時間：9：00～17：30

（土日祝日・製造販売会社休日を除く）